

石井知事とJR西日本真鍋社長との会談結果

○日時 平成 24 年 5 月 15 日(火) 15:00～15:30

○場所 JR西日本本社ビル内

○概要

(城端線関係)

- ・ 乗入れ継続の方向で前向きに検討するとの回答

⇒事実上、乗入れの継続が確実に

⇒必要車両数 22 編成が、1 編成少ない 21 編成とすることが可能

(車両関係)

- ・ 必要車両数 21 編成の 2/3 程度(14 編成)は、現在走行している新型車両を譲渡していただけるとの感触

- ・ 城端線の乗入れ継続による編成数の縮減とあわせ、初期投資額は概ね 50 億円近く減額

(収支予測では 1 編成当たり新型車両の新造価格を 4.6 億円と見込んでいたが、この譲渡分については約 1/3 の価格で譲渡される見込み)

- ・ これにより少なくとも経営分離後には、県東部地域を含め県下全域で新型車両が相当数運行できる見込み

※ 今後とも、車両を含め、その他の鉄道資産(線路、駅舎など)について、極力低額となるよう引き続き働きかける。